

令和7年度 学校評価報告書（目標設定）

県立横須賀高等学校長（全日制）

| 視点 | 4年間の目標 (令和6年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|----------------------|--|--|--|---|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 1 教育課程 学習指導 | <p>①教科学習と課題研究の相乗効果による「知の循環」を恒常的なものにするために、調和のとれた学習機会と環境を提供する。</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」を恒常的なものとし、生徒の資質・能力の伸長につなげるために、組織的な授業改善に取り組むとともに、指導と評価の在り方についての更なる研究をする。</p> | <p>①指定校事業である SSH、STEAM 教育及び学力向上進学重点校としての各取組を推進し、その相乗効果により「知の活性化」の促進と、論理的思考力や科学的思考力を伸長する。</p> <p>②組織的授業改善に加え、プロセス評価を重視し、成果の可視化やフィードバック等により、生徒の課題研究力を高める取組をすすめる。</p> <p>③多角的な評価を実践し、充実した指導につなげる。</p> | <p>①実験、観察、ディベート、グループワーク、プレゼンテーション等の学習活動を積極的に取り入れ、生徒の主体性と課題研究力の更なる向上を図る。</p> <p>②課題研究において、分析・考察・表現等のプロセスを評価に取り入れ、フィードバックするサイクルを職場全体で実践する。</p> <p>③教科横断的な授業実践と評価に加え、生徒相互、専門家、企業等の評価を指導につなげる。</p> | <p>①各教科で生徒の主体性と課題研究力を高める活動を取り入れることができたか。また、その結果生徒の論理的思考力や科学的思考力の向上がみられたか。</p> <p>②成果だけの評価ではなく、課題研究全体の評価を行い、適切なフィードバックを実践できたか。</p> <p>③生徒の深い学びにつながる指導と評価を実践できたか。また、「生徒による授業評価」「リフレクションシート」等に授業改善の成果が見られたか。</p> |
| 2 (幼児・児童) 生徒指導・支援 | <p>①特別活動や部活動の活性化や充実を図るとともに、生徒が学校生活に主体的に取り組むことで、校訓「自主自律」の精神を育むことができるよう支援する。</p> <p>②教育相談について、校内の情報共有が迅速かつ確実に行われるような体制を構築するとともに、SC・SSW や外部機関との連携を強化し、生徒一人ひとりに応じた支援を行う。</p> | <p>①体育祭・県横祭(文化発表会)等の学校行事や部活動について、生徒の主体的な取組を支援し、生徒の企画力・指導力や他者を尊重する姿勢を育む。</p> <p>②問題を抱える生徒について迅速な情報共有を行い、適切な支援体制を構築する。</p> | <p>①6月に移動実施される体育祭、及び10月に新規実施される県横祭について、生徒主体の行事となるよう生徒のアイディアを尊重しながら支援する。</p> <p>②教育相談コーディネーター、養護教諭およびSC・SSW等による定期的なコア会議を開催し、密な情報共有を維持する。</p> | <p>①各行事について実行委員生徒が主体となって企画・実施をすることができたか。</p> <p>①本年度の行事における成果及び次年度に向けた課題を関係生徒が振り返り、共有できたか。</p> <p>②コア会議によって情報共有が迅速かつ適切に行われたか。</p> <p>②問題を抱える生徒に十分な支援ができたか。</p> |
| 3 進路指導・支援 | <p>①生徒がライフキャリアの視点に基づく進路希望を持ち、それを実現させる力を全教育活動において育成できるよう進路指導・支援の体制を築く。また、生徒の主体的な取り組みを支援し、進学実績の向上を図り、学力向上進学重点校の指定を目指す。</p> <p>②生徒の進路希望実現を援助するため、社会の動きに即してあらゆる面で環境を整える。</p> | <p>①入学当初より、高い進学意識と高い進路希望を抱き、その実現に向けて主体的に取り組む態度を育成し、その目標実現に向けて教員が高い指導力をもって取り組む環境を整える。</p> | <p>①「未来ナビ」、「イマナビ」などのキャリア教育を通して、生徒が高い志望を持ち、維持することに役立てる。</p> <p>②各教科で難関大学入試問題研究を行うなど、生徒の希望進路実現の支えとなる教科指導力を培うとともに、教員対象の進学指導研修会等を実施し、教員のキャリア教育への意識を高める。</p> | <p>①学年進路集会が複数実施できたか。「未来ナビ」と「イマナビ」、第一志望宣言の実施により、生徒の進路に対する見識が深まったか。</p> <p>①難関大学志望者対象の課外講習が各教科で実施されたか。</p> <p>①難関大学受験者数が増加したか。進学実績が向上したか。</p> |

| | 視点 | 4年間の目標 (令和6年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|---|--------------|--|--|---|---|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 4 | 地域等との協働 | <p>①探究活動を通して得た知見を、社会に発信したり、近隣の小中高等学校と共に探究活動を行う等して、科学の普及や地域活性化に繋げる。</p> <p>②コミュニティスクールを活用した地域との連携をより一層深めるとともに、開かれた学校づくりを継続して推進する。</p> | <p>①本校の探究活動の成果を外部に発信する場面を工夫し、地域の活性化に繋げる。また、地域の学校の探究活動が発展していくような工夫をしていく。</p> <p>②生徒・保護者や近隣住民と連携した活動を実践し、家庭・地域の教育力を本校の教育活動・地域貢献につなげる。</p> | <p>①探究活動への取組やその成果を外部に発信する。</p> <p>①地域の学校が探究成果を発表したり、参加できる機会を作っていく。</p> <p>②地域の祭事、防災訓練等への生徒会活動としての参加や年間計画への位置付けなどの方策を検討し、実践につなげる。</p> <p>②ボランティアバンクを中心とし、家庭・地域へのボランティア活動の活性化を図る。</p> | <p>①探究活動への取り組みやその成果を外部に発信したり、他校が発表する機会等を効果的に設定できたか。</p> <p>②生徒の地域活動への参加の機会をとらえ、計画的に参加させることができたか。</p> <p>②PTA、同窓会を核としたボランティア活動を活性化することができたか。</p> |
| 5 | 学校管理 学校運営 | <p>①学校ホームページの全体構成や内容を見直し、外部への情報発信の強化に努める。特に部活動や学校行事、SSH事業の情報発信の充実を図る。</p> <p>②広報活動に関わる生徒の継続的な活動を支援し、生徒目線による学校の魅力を外部に発信する。</p> <p>③教職員のワークライフバランスを充実させ、心身ともに健康で、心にゆとりを持てるような働き方の改革をすすめる。</p> <p>④教育環境の整備や施設の老朽化対策整備を行う。</p> | <p>①学校ホームページの更新頻度をさらに高める。特に、部活動紹介ページにおいて、日々の活動を紹介するなど、より充実させる。</p> <p>②広報タスクフォースの継続的な活動支援を通じて、生徒主体の広報活動をより充実させていく。</p> <p>③Teams の活用などを通して、会議時間の削減や密な情報共有を実現し、働き方改革に結びつける。</p> <p>④教室整備や清掃活動等における課題を整理し、適切な教育環境のあり方について共有化し、その実践につなげる。</p> | <p>①定型フォーマットを作成するなどして日々の部活動を紹介しやすい環境を整え、こまめな情報発信につなげる。</p> <p>②若手職員を担当職員に加え、より生徒目線での活動を支援する。</p> <p>③各組織において Teams の活用をすすめる。</p> <p>④清掃用具等の点検・整備等により校内美化活動を活性化し、生徒の愛校心につなげる。</p> | <p>①部活動の紹介記事の更新回数が増加するなど、本校の魅力をより発信するホームページとなったか。</p> <p>②学校説明会等の広報活動に工夫・改善を加え、より本校の魅力を伝える広報活動が展開できたか。</p> <p>③会議時間の削減など、校務の効率化がすすんだか。</p> <p>④生徒の愛校心を育むような教育環境の整備がすすんだか。</p> |